

かわべ

隔月発行
 河辺村公民館
 編集委員会
 館報編集委員会
 ☎ (089439) 2111
 佐川印刷 KK
 吉田町北小路 ☎ 2-0600

河辺村人口動態

(S 57.8月1日現)

世帯数	592
人口	2,061
男	1,050
女	1,011

(S 55.10 国調)

世帯数	647
人口	2,009

(S 50.10 国調)

世帯数	666
人口	2,368

新庁舎の完成にあたって

村 長 稲 田 三 温

緑に映える陽の光にも、そこはかとなく秋の訪れの間近さを覚えるようになり、村民の皆さまには、収穫の期をひかえて、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて本村も昭和二十六年一日村制発足以来、ここに満三十年の歴史を重ねてまいりました。

その間、歴代村長を中核として諸先輩が注がれた心血の結晶により、今日の充実を招くことができたことは勿論、今後更に、ゆとりとあるおのりある地域社会、引いては幸せな暮らしを念願とする理想郷の創造に、歩、一歩近づきつつあることは、ご同慶に堪えない次第でございます。

振り返って見ますと、立村以来、教育、地域環境、諸産業等施設振



待望の新庁舎が完成

興の対策、とりわけ生活、産業を含めた道路網の整備拡充等々、曲りなりにも応急行政の対応に一つの区切りを迎えることができたと思っております。

これひとえに県当局等の諸機関、並びに村民の皆さまの、力強いお援助の賜であり厚くお礼を申し上げます。

これらの節目を契機として、県下の市町村で唯一、庁舎を持たない、いわゆる借家住いの村として、立村以来幾度となく懸案とされてきた、村民優先の重点施策が先行し、陽の目を見るに至らなかった役場庁舎の建設を企画に乗せ、村民の皆さまの深いご理解と絶大なご協力を得て、昨年八月工事を起し、総工費二億二千万を投じ、去る五月、村制実施三十周年

記念式典と期を同じくして、ご覧のような落成を見ることができました。

設計は公舎等設計の権威である松山市上川設計事務所が最も新しい技術の粋を注ぎ、工事は河辺村上建設共同企業体が、種々な悪条件を克服して工期通り、然も予期以上の素晴らしい施工を遂げました。

又用地の確保に当ってご協力を願った地主の方々、特に五〇〇㎡もの貴重な土地を先づご寄附いただいた大野喜久雄氏の奇蹟的なご好意等、建設経過の中で忘れられないことのできない数多くのご協力に心から敬意を表します。

今後この施設が村百年の発展の拠点となるよう、みなさんの指導ご協力を心から念じてご挨拶いたします。

◎工事の概要

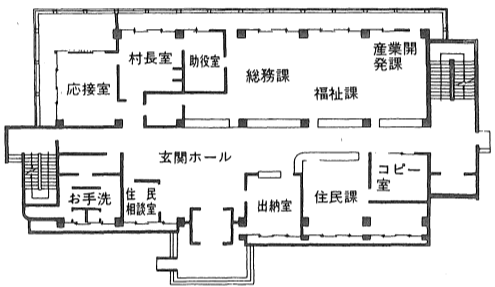
工期 昭和五十六年八月三〇日から昭和五十七年五月二十日
 設計管理 上川設計事務所
 工事施工 河辺、村上建設共同企業体

◎建物の概要

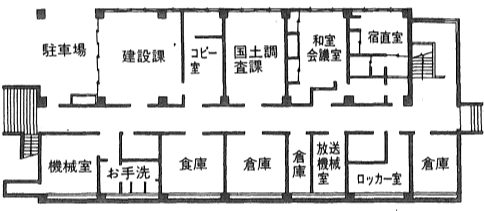
敷地面積 一五四〇・一三㎡ (四六六・七〇坪)
 建築面積 一五〇七・八一㎡ (四五三・六一坪)
 一階 四三三・七七㎡
 二階 四二五・八八㎡
 三階 四一九・〇五㎡
 PH 二二・六〇㎡

構造 鉄筋コンクリート造り

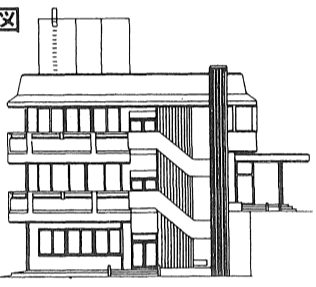
2 F



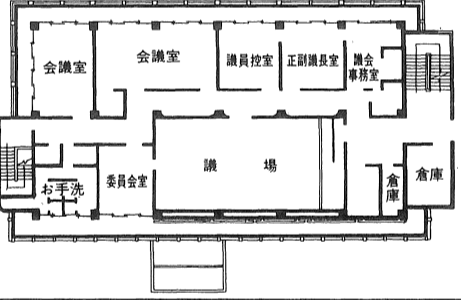
1 F 平面図



建物立面図



3 F



女心でできる農地の貸し借り

河辺農地銀行が発足

村農業委員会では七月一日から役場内(農業委員会)に、農地銀行を発足させ農地の流動に備えた業務を開始しました。十六名全員の農業委員が役員として皆さんの農地の貸し借り等のご相談にのりますのでお気軽にご利用下さい。

いま農村では農業の働き手が農外に出て、兼業化がすすみ、労働不足や耕作放棄、不耕作となる反面、農業で生活して行くことと熱心に農業に取り組み、生産

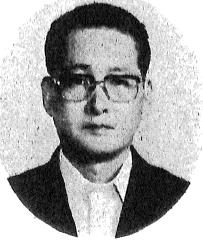
あれはまだ私が九歳の頃だった、弟のミルクを買う為に一日がかりで小田町まで行った記憶がある。大きな弟を背にした母につられて汗を流しながら黙々と歩き続けたものだった。が私にとってその道は果しなく遠く感じられた。

交通機関のまるでない時代であり誰も歩んだ道ではあつたが、一体こんな山奥に何で生まれてきたのだろう、どうしてこんな山の中に人が住みついたのである。子供心にもあまりの不便さに何度思つたか知れなかつた。それから二年後、あの長かった戦争が大きな犠牲と取り返す事のできない傷痕を残して敗戦と言ふ名で終始符がうたれ混乱期を迎えた。自給自足的な歳月が続き、都会の人々の悲惨な食糧危機のニュースが伝わってくるに至って、人間勝手なもので、山の中に生まれていく良かつた、しみくと痛感したものでした。

時代とはいえ、この時期を生

ふるさとに望む

内子町 古梅 伶



き抜くのは相当な苦労と忍耐が必要だつたと思う。然しながら人々は、このトンネルを通ることにより、どの様な時代にも苦勞の尊厳を知り、他人に頼らず何事にも打ち勝つ精神を培うことが私にとってその道は果しなく遠く感じられた。

省する私達にとって美に目を張る位に良くなった。どの町でも耳に聞こえることは、工事が計画されると自然保護だ、環境破壊だと言つた騒ぎが起る、人の住まない原始林ならいざ知らず、集落地域でその様な事を言つたのでは先人として、子々孫々まで残り得る環境や文化は生れないはずである。一見華やかに見える大都市も、実は公害と騒音の溜り場なのである。隣りの住人に何が起つても、全く関知しないと思つて、私達には考えられない不思議が平然と罷り通つている。都会とは遊びに行く所であつて住む場所ではない、というのが私の持論でもある。

現在の生活様式は、総てスィッチ一つで満たされる様になつた。昔の面影もなくなつてしまつた。私は現代科学に逆らつて、お月さまの兎を信じたい気持ちで、

叱られて 逃げる細道
 ふる里の夢

性の高い経営をめざしている農家も少なくありません。したがつて大きく分けると農外収入で行く人と農地一本で行く人とする人が、年と共にますますつきつあるという状況です。

そこで農地の貸し借りは、当然考えねばならぬ問題であり、現にそういうものがあり、ところが現行農地法で普通一般の貸し借りの場合は、貸した時、返かんの時の書類づくりや、農業委員会への通知の義務など、手続上いくつかの面倒なことがある。こうした面を改善整備したのが新しい農用地利用増進法に基づく「農地銀行」です。

それでは具体的なメリットは、従来の農地の売買、貸し借りは農地の五〇〇万円の基礎控除が受けられます。又買受人には農地取得資金が優先されるなど双方に大きいメリットがあります。

こんなときこそ、農地銀行に相談する、農地を貸してもいいが手続きが面倒だからコソソリ貸す、借りるといふ人、借り手を探しているのを見つからない人、貸し手を探している人、農地を売りたい、買いたい人、境界でもめ事のある人、その他農地に関するいろいろな問題について

(河辺村農業委員会)



こんなことじめるに
 行ける通るで
 なない銀行安
 農地、安心借
 貸、契約しまし
 しょう。

やねばし

家族の一生は人間の生涯と同じサイクルをたどる。さて共働き家族の子育てにどうして何が必要になるのだろうか。それは子育てや家事への父親の参加が必須である。父親が子育てにゆとりある参加が

「ほくは、お母さんが働いていない事はひとつもない。ほくに困ることは、忙しい時などお母さんが店の事で精いっぱいなので、ほくたちが風呂のしたくをしたり、店を手伝つたりして、自分の事は思うようにならない事だ。ほくは、お母さんが働いていないことはどうも思わないが店は、お父さん一人だとやっていけないし、お母さんもイヤイヤ働いているのじゃないかと思うので、ほくはお母さんが働いてほしいと思う。」

机に向つていれば良い子とほくは、遊びも労働も知らず、あげ膳す膳で鉛筆まで削つてもらう子どをいたわられるばかりで、ひとをいたわること知らない過保護な母が増えている今日である。母親の働くさま、その働きが家族の生活を支えている事実をしっかりと見つけて育つた子ども達は、人をいたわるやさしさ、身体を使って家庭生活の責任の一端をになうたくましさ、自信を知らず知らずの内に身につけて成長するものといえないだろうか。

将来を見つめて親が、家族が、先生が、又近所の方々や次の世代を背負う健全な青少年を育てあげなければならぬ。根本は家族自身が持つている統合力である。

道路環境美化に汗ながす

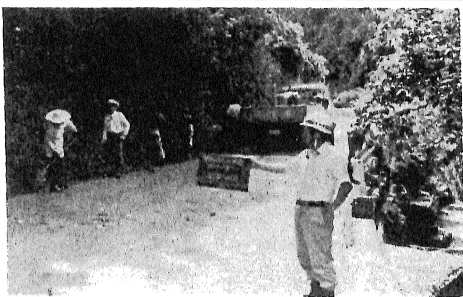
クリーン愛媛運動強調月間

住民総ぐるみで 道路美化奉仕

住民総ぐるみによる「道路美化奉仕作業」が、七月四日早朝から村内一斉におこなわれました。これは、クリーン愛媛運動強調月間にちなんで、この数年恒例となつて「道路環境の美化」を目的に、各集落ごとに道路両側の雑草を刈り取ったり、側溝の土砂あげ等を行い、また舗装道路などでは、散らかつた草を手ボキできれいに掃くなど、ていねいな作業が半日かかつて行われ、村内の道路が広く感じるほど見違へるようになったといわれています。

ガイドレール みぎき奉仕

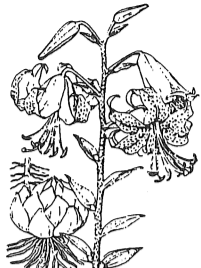
婦人会と中学生が合同で「ガイドレールみぎき」空きカン拾い作業が、七月二十五日の早朝から合同で行われました。これは、先に行われた「道路美化一斉奉仕作業」で手のつけられなかつた作業をしようと立ちあがつたもので、婦人会員八十九名はそれぞれ四分會ごとに分担して、地元の県道沿いガイドレールみぎきに取り組み、婦人が事情



河辺の植物シリーズ(8)

「オニユリ」

盛夏の山野で、人目をひく草花にオニユリがある。漢字名は鬼百合で、小型の姫百合に対して名付けられた。毒々しい花の色から毒草のように誤解されているむきもあるが、良質の澱粉を含む鱗茎は、食用となる。元祿年間出版の農業全書には、野菜として栽培したとある。かの有名なシボルトが、ロンドンで、この花を競売にかけたところ、一球二五〇ポンド(約三十万円)の相場であったという。また、明治六年のオーストラリア万博に出品されて人気を得た。正初期には、毎年二万球も輸出されていた。——と云うことになる、私たちオニユリの価値を見直す必要があるよう



なお、漢法では、鱗茎を百合と呼び、滋養、強壯、利尿に用いる。(東)

脂け



3年 山本和明



3年 山本和明



3年 山本和明



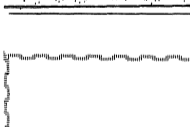
3年 山本和明



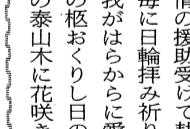
3年 山本和明



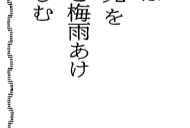
3年 山本和明



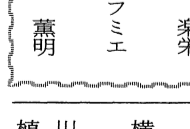
3年 山本和明



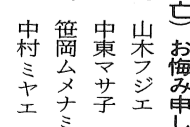
3年 山本和明



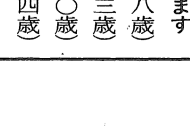
3年 山本和明



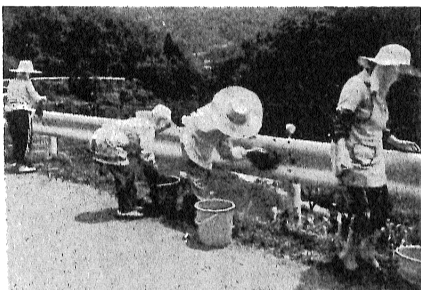
3年 山本和明



3年 山本和明



3年 山本和明



植松分館アベック 完全優勝!

雨天の続く中に河辺中学校体育館に於て、分館対抗バレーボール大会が開かれました。約一五〇人の参加をみて、手に汗にぎる好ゲームの連続です。

このたび、凶らずも本村公民館長を拜命し、七月一日付をもって就任させていただきました。公民館は、住民の相互接触の場であり、地域活動の拠点であり、住民の皆さんの生活の充実に、向

就任のごあいさつ

公民館長

角藤政千代



午前八時三〇分から開会式が行われ角藤館長、智葉教育長のあいさつに続き、植松分館を代表し藤原選手が力強い「宣言」で試合の火ぶたは切つて落され、四分館のリーグ戦により、白熱したゲームの展開が始まった。勝つてくる河辺のバレーそのものであり、戦績は次の通りです。選手の皆さん応援の皆さん本場にご苦労さまでした。

優勝・植松分館 三勝〇敗
子進優勝・大伍分館 二勝一敗
男敢闘賞・坂本分館 一勝二敗
努力賞・北平分館 〇勝三敗
優勝・植松分館 三勝〇敗
子進優勝・坂本分館 二勝一敗
女敢闘賞・大伍分館 一勝二敗
努力賞・北平分館 〇勝三敗



障害者雇う工夫と活かす知恵

（心身障害者雇用促進月間）
九月一日〜九月三十日
九月二十五日 坂本いよつ子広場
九月二十二日 河辺いよつ子広場

高齢者活かす雇用の新時代

（中高年齢者雇用促進月間）
十月一日〜十月三十一日
十月一日〜十月三十一日
各種雇用促進制度に基づき、雇用に関する相談に応じていますのでお気軽におこしください。
大洲公共職業安定所

自衛官募集のご案内

○受付期間

常時受付しています。

○応募資格

十八歳〜二十五歳未満の日本国籍を有する心身ともに健全な男子で、中学校卒業以上の学力ある者

○試験

試験期日及び試験場は受付時にお知らせします。
筆記試験(国語、数学、社会、作文)
イ口述試験
ウ身体検査
エ適性検査

○志願書類の請求先

役場にお申し出ください。
九月一日〜三十日 心身障害者雇用促進月間
九月五日 県民体育祭喜多郡大会
九月七日 農業委員会
九月八日 お茶の間懇話会(植松)
九月八日 結核検診(植松)
九月十日 〃(北平)
九月十五日 敬老会
九月十九日 第三回高齢者運動会
九月二十二日 北平いよつ子広場
九月二十四日 村議会
十月一日〜三十一日 中高年齢者雇用促進月間
十月十日 第十八回村民運動会

お知らせ

※公民館の電話番号が変更しました。
☎(〇八九三三九)二二二一
内線の二六又は二七
を呼び出して下さい

同和教育シリーズ(10)

問 世間では、同和教育といえは「差別観念を徹廃すれよ」と、考えられるのですが、それでよいのではないのでしょうか。

答 この差別観念というものは、目で見ることでも手でもふれることでもできません。丁度スクリーンに映っている映画のようなもので、フィルムという実態をそのままにして向うの映画を取つてのけることはできません。それと同じことで世の中に差別観念という悪い影があるのはその影を生みだした実態があるからです。

その実態とは、一般地区に比べいろいろな面で劣りしていることがあつてそこから差別観念という影が映し出されるのであります。この観念をなくするために、差別観念という影の取りのぞくためには地区のそれらの実態は、経済の更正や文化の向上を

優越の観念を取りさる運動を啓蒙運動といえます。卑下の観念を打破するために地区の人々が自分自身を大切に扱う自覚がなくてはなりません。

梅雨晴れし午後ひとときよもぎ
摘む草餅好みし亡母を恋いつつ
卯の花の小枝たわに咲きみちて
きり立つ森にほととぎす鳴く
栗の花咲き満ちたり豊作を
告げて散りしも秋実残し居て
おそかりし長梅雨空をあおぎ見て
災害なかれと祈る思いで
山桜散りにし跡を慕いつつ
永久に求めん武士道
母ませし昔の山もかくやありし
故里にきくひぐらしの声
ありし日に母が手折しし古しきび
新芽を採りて墓に詣でる
手足不足荒野と成りし田畑を
情の援助受けて耕す
朝毎に日輪拝み祈りしは
我がはらからに愛の光を
君の柩おくりし日のごと梅雨あけ
の泰山木に花咲きはじむ

上林ヨシ子
古梅 貞道
田辺 照代
清水 菊江
和氣弥三男
中本 文江
久保 久栄
小川 榮栄
和氣フミエ
戸田 薫明

消息 (自57.5.101)

(出生おめでとう) ございます
上大成 父 清孝 宮岡志津香
中居 寛 片山 権人
稲谷 勇 酒井 誠
天神 修 山本 恵
(結婚 末ながくお幸せに)
竹本 正一(用の山)
幸田 妻子(国木)
田中 現裕(百合谷)
(奥山真由美(広田村))
(死亡) お悔み申し上げます
横通 山木フジエ (八八歳)
旭 中東マサ子 (七三歳)
川崎 笹岡ムナミ (八〇歳)
植松 中村ミヤエ (八四歳)